

事業№	事業名	除雪対策費				担当部署	部名	都市整備部
							課名	道路・河川管理課
130							電話	52-7394
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	土木費
	政策名(章)	第 4 章 安心して暮らせるまちづくり					項	道路橋梁費
	施策名(節)	第 4 節 雪に強いまちづくりの推進					目	雪害対策費
	実施計画掲載	無		個別計画	道路除雪実施計画書			
根拠法令・要綱等		道路法第42条						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民及び道路利用者
	意図	どのような状態に	積雪時に機械除雪を実施し、道路を利用する歩行者及び車両が安全に通行できるよう冬期間の円滑な道路交通を確保する。
事業内容	手段	どのような方法で	・業者委託による機械除雪 ・地域受託型除排雪事業 ・凍結防止剤散布

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
	構造・階数					指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間		
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況		
	設備・規模						民間施設状況

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度			平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	130	事務 事業名	除雪対策費	担当課	道路・河川管理課
---------	-----	-----------	-------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 機械除雪一斉出動回数	回数	10	10	10	100.0	5
	③						
活動 指標	① 機械除雪延長	km	511.7	513.3	513.3	100.0	514
	②						
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	330,643 千円	322,219 千円	▲ 2.5	124,186 千円
	正規職員人件費相当額	8,349 千円	8,296 千円	▲ 0.6	8,228 千円
	退職手当引当金相当額	1,210 千円	1,159 千円	▲ 4.2	1,150 千円
	事業コスト計	340,202 千円	331,674 千円	▲ 2.5	133,564 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	21,000 千円	27,300 千円	30.0	10,800 千円
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	319,202 千円	304,374 千円	▲ 4.6	122,764 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数				
利用者1人当たりコスト	正規職員	1.21 人	1.22 人	0.8	1.21 人
	臨時職員	人	人		人
うち一般財源ベース分		—	—		
		—	—		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	道路除雪は、冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するため必要不可欠である。
有 効 性	3	業者委託又は地域受託による機械除雪で、速やかに冬期間の円滑な道路環境を確保することができる。
達 成 度	4	除雪出動基準に基づき機械除雪路線のすべてについて、状況に応じた除雪作業を実施している。
効 率 性	4	道路パトロールの実施により積雪状況を的確に把握し、除雪出動範囲及び出動の判断をしており効率的な除雪作業を実施している。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
引き続き、的確な積雪状況を把握し、効率的で効果的な機械除雪を実施し、冬期間の安全で円滑な道路環境の確保に努める。					

事業№ 131	事業名 消雪施設維持管理費	担当部署	部名 都市整備部
		課名 道路・河川管理課	電話 52-7394
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 —	予算科目
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち	会計 一般会計
	政策名 (章)	第 4 章 安心して暮らせるまちづくり	款 土木費
	施策名 (節)	第 4 節 雪に強いまちづくりの推進	項 道路橋梁費
	実施計画掲載	無	個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象	誰を・何を	道路利用者
	意図	どのような状態に	消雪施設を適正に維持管理することで、冬期間に道路を利用する車両が、安全で快適な道路環境を確保できるようにする。
事業内容	手段	どのような方法で	・消雪施設の巡回及び点検 ・支障箇所の修繕 ・老朽化施設の更新

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
	構造・階数					指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間		
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況		
	設備・規模						民間施設状況

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度			平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	131	事務 事業名	消雪施設維持管理費	担当課	道路・河川管理課
---------	-----	-----------	-----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 消雪施設点検回数	回	4	5	5	100.0	5
	③						
活動 指標	① 消雪管理延長 (市道)	km	163	165	165	100.0	166
	②						
	③						

事業費			平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算	
事業費・人件費	事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	132,636 千円	156,055 千円	17.7	121,762 千円	
		正規職員人件費相当額	8,004 千円	7,888 千円	▲ 1.4	7,820 千円	
		退職手当引当金相当額	1,160 千円	1,102 千円	▲ 5.0	1,093 千円	
		事業コスト計	141,800 千円	165,045 千円	16.4	130,675 千円	
	財源内訳	国 県 支 出 金		3,600 千円	2,520 千円	▲ 30.0	千円
		そ の 他		17,668 千円	27,887 千円	57.8	610 千円
		一 般 財 源		120,532 千円	134,638 千円	11.7	130,065 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	1.16 人	1.16 人	0.0	1.15 人		
	臨時職員	人	人		人		
	利用者1人当たりコスト	－	－				
	うち一般財源ベース分	－	－				

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	道路利用者にとって、冬期間の安全な道路交通の確保が、極めて重要であり必要不可欠である。
有 効 性	3	冬期間の安全で快適な道路環境を、確保することができる。
達 成 度	4	老朽化した施設について、緊急性の高い箇所から年次的に補修を行っている。
効 率 性	3	施設点検について、業者委託を行っており効率的な管理を行っている。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
引き続き、適正な施設の維持管理と敏速な補修により、冬期間の安全で快適な道路環境の確保に努める。					